(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-165772
(P2012-165772A)
(43)公開日　平成24年9月6日(2012.9.6)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A47H 19/00	(2006.01)	A47H 19/00		2E182

審査請求 有　請求項の数 7　ＯＬ　（全 14 頁）

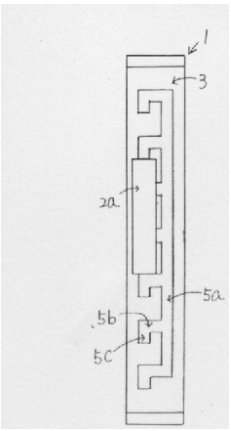
(21)出願番号　特願2011-26576(P2011-26576)
(22)出願日　平成23年2月9日(2011.2.9)
(11)特許番号　特許第4746157号(P4746157)
(45)特許公報発行日　平成23年8月10日(2011.8.10)

(71)出願人　507245548
山根　さゆり
兵庫県豊岡市日高町名色１１５４
(72)発明者　山根　さゆり
兵庫県豊岡市日高町名色１１５４

Ｆターム(参考)　2E182 AA01　AB01　AC01　GG06

(54)【発明の名称】房かけ

(57)【要約】
【課題】吊り下げ部材を容易に移動し部屋を効率的に使用できる房かけを開発すること。
【解決手段】本発明の房かけ１は吊り下げ部材２と、その吊り下げ部材２を支える支持部材３とからなり、吊り下げ部材２は房をかける本体部２ａと吊り下げ部材１を支持部材３に係止させる係止部２ｃと本体部２ａと係止部２ｃを連結する連結部２ｂで構成され、支持部材３には吊り下げ部材２の係止部を移動させる溝５を設け、その溝５に吊り下げ部材２の係止部２ｃの取出口部分を設けたことにより吊り下げ部材２の交換をすることが可能となる。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を支える支持部材とからなり、吊り下げ部材は房をかける本体部と吊り下げ部材を支持部材に係止させる係止部と本体部と係止部を連結する連結部で構成され、支持部材には吊り下げ部材の係止部を移動させる溝を設け、その溝に吊り下げ部材の係止部の取出口部分を設け、吊り下げ部材の交換ができる構成としたことを特徴とした房かけ。
【請求項２】
吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を移動させる溝と取出口を設けた支持部材と、支持部材の取出口を開閉する取出口カバーとからなり、吊り下げ部材は房をかける本体部と吊り下げ部材を支持部材に係止させる係止部と本体部と係止部を連結する連結部で構成され、支持部材から取出口カバーを開閉して吊り下げ部材の係止部を支持部材から着脱させることにより吊り下げ部材の交換ができる構成としたことを特徴とした房かけ。
【請求項３】
支持部材の溝は支持部材の上下に吊り下げ部材を移動させる本体溝と、本体溝に平行して上下に複数設けた吊り下げ部材を係止させる支持溝と、本体溝と支持溝の間の各支持溝を連結する連結溝からなり、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材の高さ調整を自在にできる構成としたことを特徴とした請求項１、請求項２に記載の房かけ。
【請求項４】
支持部材の溝は支持部材の左右に吊り下げ部材を移動させる本体溝と、本体溝に垂直に複数設けた吊り下げ部材を係止させる支持溝を設け、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材が左右自在にできる構成としたことを特徴とした請求項１、請求項２に記載の房かけ。
【請求項５】
支持部材の溝は支持部材の上部から斜め下部に吊り下げ部材を移動させる本体溝と、本体溝に垂直に複数設けた吊り下げ部材を係止させる支持溝を設け、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材の高さ調整と左右調整が自在にできる構成としたことを特徴とした請求項１、請求項２に記載の房かけ。
【請求項６】
支持部材の溝は支持部材の上下に吊り下げ部材を移動させる本体溝からなり、吊り下げ部材の係止部はその下部を連結部の斜め下後方に位置するように連結部に連結し、支持部材の基板に吊り下げ部材の係止部を係止させる止部を上下に複数設け、吊り下げ部材の角度を変えて本体溝を移動させ任意の位置の止部に係止部をはめ込むことにより吊り下げ部材の高さ調整を自在にできる構成としたことを特徴とした請求項２に記載の房かけ。
【請求項７】
吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を支える支持部材と、支持部材に着脱する支持部材カバーとからなり、吊り下げ部材は房をかける本体部と吊り下げ部材を係止　させる係止部と本体部と係止部を連結する連結部で構成され、支持部材から取出口カバーを着脱する構成とすることで吊り下げ部材の係止部を着脱させることにより吊り下げ部材の交換ができる構成とし、支持部材は上部に吊り下げ部材を保持する保持部を設け、支持部材の下部には放射状に吊り下げ部材を移動し係止させる支持溝を設けた支持部を垂直に設け、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材が左右自在にできる構成としたことを特徴とした房かけ。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明はカーテンの房かけに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
これまでカーテンは開けた時に窓枠付近の壁や柱に係止された房かけに房を掛け束ねられ

ていた。
【０００３】
そこでカーテンを束ねる房をかけるための房かけとして特開平１１－１６９２８４号公報のような構成が考案されている。この房かけは房をかけるための棒状の吊り下げ部材と棒状の吊り下げ部材を挿入するための係止部を設けた支持部材とからなり支持部材を壁に固定し、棒状の吊り下げ部材を係止部に挿入して房かけとした構成である。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】特開平１１－１６９２８４号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
この特開平１１－１６９２８４号公報に記載されている房かけでは、係止部が折れて壊れたときに支持部材を付け換えすることになり、壁や柱を傷つける懸念がある。
【０００６】
また、カーテンからブラインドに、ブラインドからカーテンに換えたいとき、その都度、房かけを柱や壁に取付けたり取り外したりしなければならないので手間がかかる。
【０００７】
また、冬場など、束ねたカーテンが窓の結露に付き濡れることがあるが、係止部の長さを換えることができないので束ねたカーテンを窓から離すことができず、カーテンが濡れるのを防止することができない。
【０００８】
また、新しい柄や配色のカーテンに付け換えたいと思ったとき、柱や壁に傷跡が残ることを避けたいので房かけの位置を変更することができず、その結果、房を定位置にしかかけることができずインテリアのバランスを損なってしまう。
【０００９】
また、このような房かけは部屋の模様替えをするときに家具等を置く位置が限られてしまい、思うように部屋の模様替えができなかった。吊り下げ部材の位置が容易に変更できる房かけは今まで開発されていなかった。
【００１０】
そこで、本発明者は容易に交換や移動ができるような房かけはできないか考えた。
【課題を解決するための手段】
【００１１】
本発明の房かけは吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を支える支持部材とからなり、吊り下げ部材は房をかける本体部と吊り下げ部材を支持部材に係止させる係止部と本体部と係止部を連結する連結部で構成され、支持部材には吊り下げ部材の係止部を移動させる溝を設け、その溝に吊り下げ部材の係止部の取出口部分を設け、吊り下げ部材の交換ができる構成としたことを特徴とする。
【００１２】
また、本発明の房かけは吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を移動させる溝と取出口を設けた支持部材と、支持部材の取出口を開閉する取出口カバーとからなり、吊り下げ部材は房をかける本体部と吊り下げ部材を支持部材に係止させる係止部と本体部と係止部を連結する連結部で構成され、支持部材から取出口カバーを開閉して吊り下げ部材の係止部を支持部材から着脱させることにより吊り下げ部材の交換ができる構成としたことを特徴とする。
【００１３】
また、支持部材の溝は支持部材の上下に吊り下げ部材を移動させる本体溝と、本体溝に平行して上下に複数設けた吊り下げ部材を係止させる支持溝と、本体溝と支持溝の間の各支持溝を連結する連結溝からなり、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部

材の高さ調整を自在にできる構成としたことを特徴とする。
【００１４】
また、支持部材の溝は支持部材の左右に吊り下げ部材を移動させる本体溝と、本体溝に垂直に複数設けた吊り下げ部材を係止させる支持溝を設け、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材が左右自在にできる構成としたことを特徴とする。
【００１５】
また、支持部材の溝は支持部材の上部から斜め下部に吊り下げ部材を移動させる本体溝と、本体溝に垂直に複数設けた吊り下げ部材を係止させる支持溝を設け、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材の高さ調整と左右調整が自在にできる構成としたことを特徴とする。
【００１６】
また、支持部材の溝は支持部材の上下に吊り下げ部材を移動させる本体溝からなり、吊り下げ部材の係止部はその下部を連結部の斜め下後方に位置するように連結部に連結し、支持部材の基板に吊り下げ部材の係止部を係止させる止部を上下に複数設け、吊り下げ部材の角度を変えて本体溝を移動させ任意の位置の止部に係止部をはめ込むことにより吊り下げ部材の高さ調整を自在にできる構成としたことを特徴とする。
【００１７】
また、吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を支える支持部材と、支持部材に着脱する取出口カバーとからなり、吊り下げ部材は房をかける本体部と吊り下げ部材を係止させる係止部と本体部と係止部を連結する連結部で構成され、支持部材から取出口カバーを着脱する構成とすることで吊り下げ部材の係止部を着脱させることにより吊り下げ部材の交換ができる構成とし、支持部材は上部に吊り下げ部材を保持する保持部を設け、支持部材の下部には放射状に吊り下げ部材を移動し係止させる支持溝を設けた支持部を垂直に設け、吊り下げ部材をその溝を移動することにより吊り下げ部材が左右自在にできる構成としたことを特徴とする。
【発明の効果】
【００１８】
本願発明の房かけは吊り下げ部材と、その吊り下げ部材を支える支持部材とからなり、支持部材に吊り下げ部材の係止部を係止させる溝が設けられ、また、着脱できる取出口カバーを支持部材に設けることにより吊り下げ部材を取出し、交換することができる。したがって、吊り下げ部材が折れたときは支持部材を取り換えることなく吊り下げ部材だけを交換できる。また、房かけのデザインを変えたいと思ったときにも、吊り下げ部材だけ交換すれば良い。吊り下げ部材が折れて壊れたときに壁や柱を傷つけることなく、吊り下げ部材だけを交換すれば安価に交換が可能となる。また、交換が可能なので部屋の模様替えをした時に吊り下げ部材もデザインの違うものに交換できる。
【００１９】
また、カーテンからブラインドに、ブラインドからカーテンに換えたいときに吊り下げ部材の着脱で再利用できるので手間が省ける。
【００２０】
また、冬場など、束ねたカーテンが窓の結露に付き濡れることがあるが、吊り下げ部材の連結部の長いものに交換すれば束ねたカーテンを窓から離すことができるので、カーテンを濡らすことを防止することができる。
【００２１】
また、本発明は支持部材に設けられている溝に沿って吊り下げ部材を移動させることができるので、房を定位置にしか固定できずカーテンを束ねる位置を変えることができない房かけの位置を容易に変更できカーテンの柄や配色が部屋全体のインテリアのバランスを良くすることができ、家具の大きさにも対応できるので部屋の模様替えの妨げになりにくい。
【図面の簡単な説明】
【００２２】

【図１】本発明の房かけの全体図。
【図２】支持部材の斜視図。
【図３】吊り下げ部材の図面。
【図４】図３の吊り下げ部材とは異なる吊り下げ部材の図面。
【図５】図１の破断図。
【図６】本発明の別の実施例である実施例１の図面。
【図７】実施例１の支持部材の斜視図。
【図８】実施例１の破断図。
【図９】本発明の別の実施例である実施例２の図面。
【図１０】実施例２の支持部材の斜視図。
【図１１】実施例２の破断図。
【図１２】本発明の別の実施例である実施例３の図面。
【図１３】実施例３の支持部材の斜視図。
【図１４】実施例３の吊り下げ部材の側面図。
【図１５】実施例３の吊り下げ部材の断面図。
【図１６】実施例３の破断図。
【図１７】実施例３の側面図。
【図１８】本発明の別の実施例である実施例４の図面。
【図１９】実施例４の支持部材の図面。
【図２０】実施例４の取出口カバーの図面。
【図２１】実施例４の吊り下げ部材の図面。
【図２２】図２１の吊り下げ部材とは異なる吊り下げ部材の図面。
【図２３】図２１の吊り下げ部材とは異なる吊り下げ部材の図面。
【発明を実施するための形態】
【００２３】
以下本発明にかかる房かけについて図１から図５に基づいて説明する。
【００２４】
本発明の房かけ１は図１、図２に図示されているように、吊り下げ部材２と支持部材３とで構成されている。支持部材３は支持部３ａと基板３ｂで構成され、支持部３ａには吊り下げ部材２を上下させる本体溝５ａ、吊り下げ部材２を係止　させる支持溝５ｃ、本体溝５ａと支持溝５ｃを連結する連結溝５ｂを設け、支持部３ａと基板３ｂとの間に吊り下げ部材２の係止部２ｃ、吊り下げ部材２Ａの係止部２ｄを挿入し移動できる空間３ｃを設けて壁や柱に取付ける構成である。
【００２５】
図３に図示されているように、吊り下げ部材２は本体部２ａ、連結部２ｂ、係止部２ｃで構成され、本体部２ａは房を掛け、連結部２ｂは本体部２ａと係止部２ｃを連結し、係止部２ｃは支持部材３を移動し係止させる構成である。また、図４に図示されている吊り下げ部材２Ａは本体部２ａ、連結部２ｂ、係止部２ｄで構成され、本体部２ａは房を掛け、連結部２ｂは本体部２ａと係止部２ｄを連結し、係止部２ｄは支持部材３を移動し係止させる構成である。
【００２６】
図５に図示されているように、吊り下げ部材２は支持部材３の連結溝５ｂに吊り下げ部材２の係止部２ｃをはめ込み移動し、任意の位置の支持溝５ｃにはめ込めば係止できる構成である。または支持部材３の本体溝５ａに吊り下げ部材２Ａの係止部２ｄをはめ込み移動し、任意の位置の支持溝５ｃにはめ込めば係止できる構成である。従来の房かけは壁や柱から吊り下げ部材の先端までの厚みが２５ミリメートル前後あるものが多数見受けられるが従来の房かけと同等の基板の厚みなどを考慮すれば、支持部材の厚みを１０ミリメートル以内に収めることができ吊り下げ部材を移動や取り外しをしたときに支持部材が障害物になりにくい構成である。また、吊り下げ部材をはめ込み房かけと使用しても従来の房かけの厚みより５ミリメートル厚さが増す程度で使用することが可能である。

【実施例】
【００２７】
つぎに実施例１について図６から図８を用いて説明する。実施例１の房かけ１１は図６、図７に図示されているように、吊り下げ部材２と支持部材１３とで構成されている。支持部材１３は支持部１３ａと基板１３ｂで構成され、支持部１３ａには吊り下げ部材２を左右させる本体溝１５ａ、吊り下げ部材２を係止させる支持溝１５ｃを設け、支持部１３ａと基板１３ｂとの間に吊り下げ部材２の係止部２ｃを挿入し移動できる空間１３ｃを設けて壁や柱に取付ける構成である。
【００２８】
図８に図示されているように、吊り下げ部材２と支持部材１３は支持部材１３の本体溝１５ａに吊り下げ部材２の係止部２ｃをはめ込み移動し、任意の位置の支持溝１５ｃにはめ込めば係止できる構成である。
【００２９】
図３に図示されている吊り下げ部材２は、本発明および本発明の実施例１および次に記載の実施例２において共通で使用することが可能である。
【００３０】
つぎに実施例２について図９から図１１を用いて説明する。実施例２の房かけ２１は図９、図１０に図示されているように、吊り下げ部材２と支持部材２３とで構成されている。支持部材２３は支持部２３ａと基板２３ｂ構成され、支持部２３ａには吊り下げ部材２を上下左右させる本体溝２５ａ、吊り下げ部材２を係止させる支持溝２５ｃを設け、支持部２３ａと基板２３ｂとの間に吊り下げ部材２の係止部２ｃを挿入し移動できる空間２３ｃを設けて壁や柱に取付ける構成である。
【００３１】
図１１に図示されているように、吊り下げ部材２と支持部材２３は支持部材２３の本体溝２５ａに吊り下げ部材２の係止部２ｃをはめ込み移動し、任意の位置の支持溝２５ｃにはめ込めば係止できる構成である。
【００３２】
つぎに実施例３について図１２から図１７を用いて説明する。実施例３の房かけ３１は図１２、図１３に図示されているように吊り下げ部材３２と支持部材３３と取出口カバー３４で構成されている。支持部材３３は支持部３３ａと基板３３ｂと止部３３ｄで構成され、支持部３３ａには吊り下げ部材３２を上下させる溝３５を設け、基板３３ｂに吊り下げ部材３２の係止部３２ｃを任意の位置で係止させるために複数の止部３３ｄを設け、支持部３３ａと基板３３ｂの間に係止部３２ｃが移動できる空間３３ｃを設けて壁や柱に取付ける構成である。
【００３３】
吊り下げ部材３２は本体部３２ａ、連結部３２ｂ、係止部３２ｃで構成され、本体部３２ａは房を掛け、連結部３２ｂは本体部３２ａと係止部３２ｃを連結し、係止部３２ｃは支持部材３３を移動し係止させる構成である。係止部３２ｃは図１４に図示されているＡ，Ｂの断面図、図１５に図示されているように連結部３２ｂの長手方向の一端と係止部３２ｃの上部の中心を連結部３２ｂの斜め下後方に係止部３２ｃの下部が位置するように支持部材の内側を移動し係止できる角度を設け連結部に連結されている。
【００３４】
図１６、図１７に図示されているように吊り下げ部材３２の係止部３２ｃを支持部材３３の上部から基板３３ｂと支持部３３ａの空間に挿入し取出口カバー３４で支持部材３３の上部を覆い、支持部材３３の溝３５に沿って係止部３２ｃを移動し、任意の位置の止部３３ｄにはめ込めば係止できる構成である。支持部材３３の止部３３ｄと吊り下げ部材３２の係止部３２ｃに角度を設け、吊り下げ部材３２の角度を変えて移動することで、吊り下げ部材３２の移動と安定した係止ができ、支持部材３３の厚みを少なくすることができる構成となる。
【００３５】

連結部３２ｂと係止部３２ｃの連結、係止部３２ｃの形状および基板３３ｂに設けた止部３３ｄの個数、形状、位置の構成は吊り下げ部材３２をスムーズに移動させることができ、係止させることができ、強度があり、壊れにくい構成であればよく、特に限定するものではない。

【００３６】

つぎに実施例４について図１８から図２３を用いて説明する。実施例４の房かけ４１は図１８、図１９に図示されているように吊り下げ部材４２と支持部材４３と取出口カバー４４で構成されている。支持部材４３は支持部４３ａと保持部４３ｂで構成され、支持部材４３の下部に吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、吊り下げ部材６２をはめ込むための放射状に溝４５を設けた支持部４３ａを垂直に設け、支持部材４３の上部に吊り下げ部材４２の係止部４２ｃ、吊り下げ部材５２の係止部５２ｃ、吊り下げ部材６２の係止部６２ｃを支える保持部４３ｂを設けて壁や柱に取付ける構成である。また、吊り下げ部材４２の係止部４２ｃ、吊り下げ部材５２の係止部５２ｃ、吊り下げ部材６２の係止部６２ｃを保持部４３ｂに置き、取出口カバー４４で保持部４３ｂを覆う構成である。

【００３７】

吊り下げ部材４２は図２１に図示されているように本体部４２ａ、連結部４２ｂ、係止部４２ｃとで構成され、本体部４２ａは房を掛け、係止部４２ｃは支持部４３ａと保持部４３ｂと取出口カバー４４に支えられ、連結部４２ｂは本体部４２ａと係止部４２ｃを連結し支持部４３ａの上面を移動し係止させる構成である。

【００３８】

吊り下げ部材５２は図２２に図示されているように本体部５２ａ、連結部５２ｂ、係止部５２ｃとで構成され、本体部５２ａは房を掛け、係止部５２ｃは支持部４３ａと保持部４３ｂと取出口カバー４４に支えられ、連結部５２ｂは本体部５２ａと係止部５２ｃを連結し支持部４３ａの上面を移動し係止させる構成である。本体部５２ａ、係止部５２ｃの間隔は従来の吊り下げ部材より長い構成であり用途により吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２を使い分けすることが可能である。

【００３９】

吊り下げ部材６２は図２３に図示されているように本体部６２ａ、連結部６２ｂ、係止部６２ｃ、本体部６２ｄ、連結部６２ｅとで構成され、本体部６２ａ、本体部６２ｄは房を掛け、係止部６２ｃは支持部４３ａと保持部４３ｂと取出口カバー４４に支えられ、連結部６２ｂは連結部６２ｂの一端に設けた結合部材６６ａで連結部６２ｅの一端に設けた結合部６６ｂに結合できる構成とし、連結部６２ｅは本体部６２ｄと係止部６２ｃを連結し、支持部４３ａの上面を移動し係止させる構成である。本体部６２ａと係止部６２ｃの間隔は従来の吊り下げ部材より長い構成であり、連結部６２ｂの一端に設けた結合部材６６ａと連結部６２ｅの一端に設けた結合部６６ｂに結合できる構成としことにより従来の房かけの長さにも調節が可能となる。また、吊り下げ部材６２の用途により本体部６２ａ、連結部６２ｂを取り外した時は本体部６２ｄが本体部６２ａの機能を補う構成である。

【００４０】

支持部材４３の保持部４３ｂに吊り下げ部材４２の係止部４２ｃ、吊り下げ部材５２の係止部５２ｃ、吊り下げ部材６２の係止部６２ｃをはめ込み取出口カバー４４で覆い、支持部４３ａに放射状に設けた支持溝４５の任意の位置に吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、吊り下げ部材６２を移動し、はめ込めば係止できる構成である。取出口カバー４４の着脱により吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、つり下げ部材６２の落下の防止や長さや形状の違う吊り下げ部材に交換が可能となる。

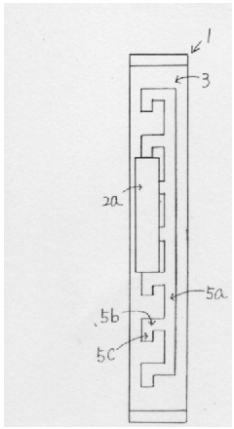
【００４１】

吊り下げ部材２、吊り下げ部材３２、吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、吊り下げ部材６２、支持部材３、支持部材１３、支持部材２３、支持部材３３、支持部材４３、取出口カバー３４、取出口カバー４４の素材においては、陶器、磁器、プラスチック、ゴム、鉄、アルミなどの繰り返し拭き掃除でき清潔さを保て強度のあるものが理想であるが、場合によっては紙、布、木材など特に限定するものではない。

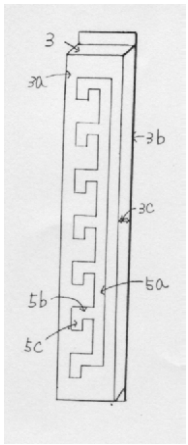
【００４２】
吊り下げ部材２、吊り下げ部材３２、吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、吊り下げ部材６２、支持部材３、支持部材１３、支持部材２３、支持部材３３、支持部材４３、取出口カバー３４、取出口カバー４４の大きさ、高さ、長さ、幅、形、デザイン、色などは部屋の形状、柱の位置、窓の位置などを考慮し可能な限り最大限に活用できる構成であればよく特に限定するものではない。
【００４３】
支持部材３、支持部材１３、支持部材２３、支持部材３３、取出口カバー３４、取出口カバー４４はデザイン性のあるものにすれば、吊り下げ部材２、吊り下げ部材２Ａ、吊り下げ部材３２、吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、吊り下げ部材６２が不要になった時に壁や柱を傷つけることなく部屋のインテリアとして残しておくことも可能である。
【００４４】
溝５、溝１５、溝２５、溝４５の個数、形状、位置の構成は吊り下げ部材２、吊り下げ部材４２、吊り下げ部材５２、吊り下げ部材６２がスムーズに移動させることができ、係止させることができ、強度があり、壊れにくい構成であればよく、特に限定するものではない。
【符号の説明】
【００４５】
１　房かけ
２　吊り下げ部材
２Ａ　吊り下げ部材
２ａ　本体部
２ｂ　連結部
２ｃ　係止部
２ｄ　係止部
３　支持部材
３ａ　支持部
３ｂ　基板
３ｃ　空間
５　溝
５ａ　本体溝
５ｂ　連結溝
５ｃ　支持溝
１１　房かけ
１３　支持部材
１３ａ　支持部
１３ｂ　基板
１３ｃ　空間
１５　溝
１５ａ　本体溝
１５ｃ　支持溝
２１　房かけ
２３　支持部材
２３ａ　支持部
２３ｂ　基板
２３ｃ　空間
２５　溝
２５ａ　本体溝
２５ｃ　支持溝
３１　房かけ

３２　吊り下げ部材
３２ａ　本体部
３２ｂ　連結部
３２ｃ　係止部
３３　支持部材
３３ａ　支持部
３３ｂ　基板
３３ｃ　空間
３３ｄ　止部
３４　取出口カバー
３５　溝
３５ａ　本体溝
４１　房かけ
４２　吊り下げ部材
４２ａ　本体部
４２ｂ　連結部
４２ｃ　係止部
４３　支持部材
４３ａ　支持部
４３ｂ　保持部
４４　取出口カバー
４５　溝
５２　吊り下げ部材
５２ａ　本体部
５２ｂ　連結部
５２ｃ　係止部
６２　吊り下げ部材
６２ａ　本体部
６２ｂ　連結部
６２ｃ　係止部
６２ｄ　本体部
６２ｅ　連結部
６６ａ　結合部材
６６ｂ　結合部

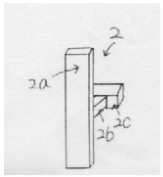
【図１】



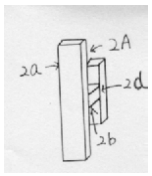
【図２】



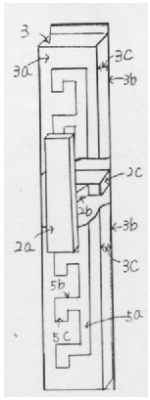
【図３】



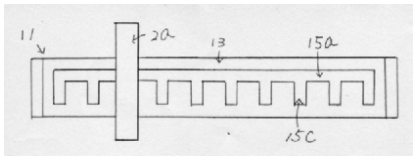
【図４】



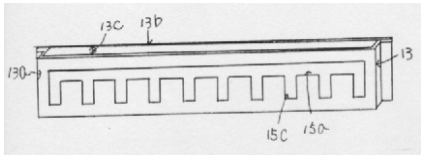
【図５】



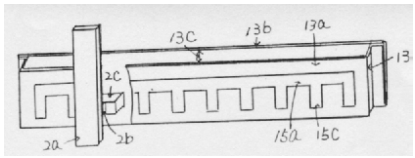
【図６】



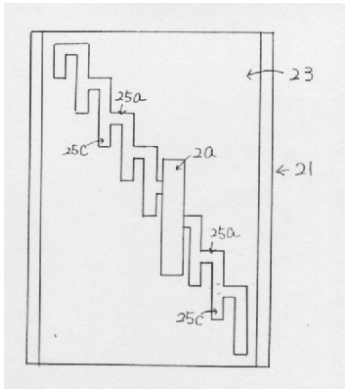
【図７】



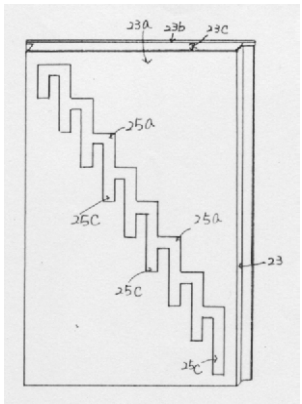
【図８】



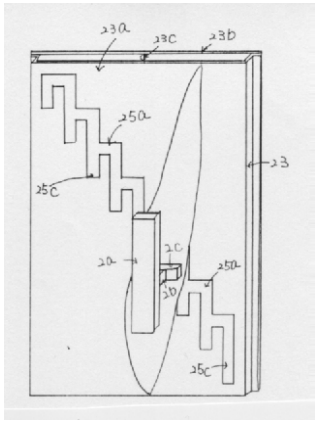
【図９】



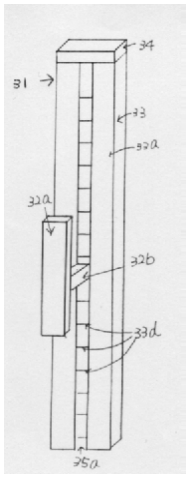
【図１０】



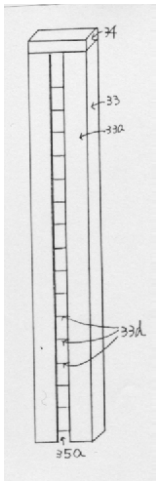
【図１１】



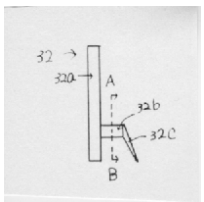
【図１２】



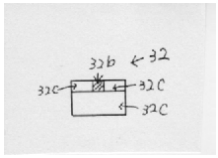
【図１３】



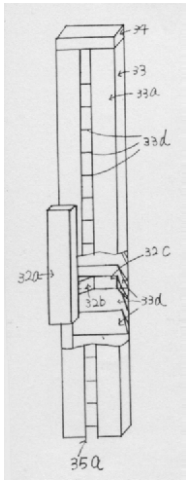
【図１４】



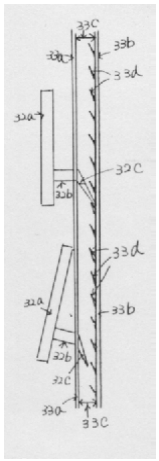
【図１５】



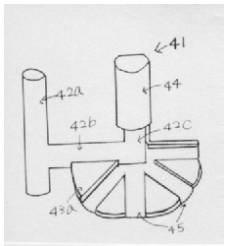
【図１６】



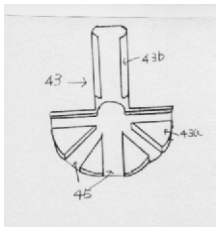
【図１７】



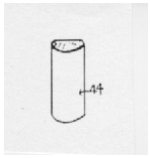
【図１８】



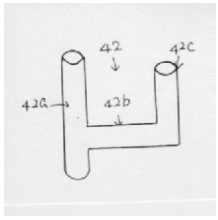
【図１９】



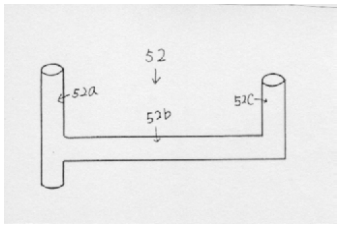
【図２０】



【図２１】



【図２２】



【図２３】

